

鶏 卵

- 鶏卵は、国内生産量が約252万トン、輸入量約12万トンであり、国内消費量に占める輸入量の割合は約5%。
- 輸入量の約7割をかまぼこ等の練り物の原料として使用される卵白粉が占め（主な輸入先国は、オランダ、イタリア、インド）、残りの約3割を菓子や菓子パン等の原料として使用される全卵及び卵黄の粉卵や液卵等が占めており（主な輸入先国は、米国）、いずれも用途は限定的である。

【生産量】

国内生産量	主な生産地（2013年度）		
2,519千トン （生産量シェア）	茨城県 （8%）	千葉県 （7%）	鹿児島県 （7%）

出典：鶏卵流通統計

【輸入量】

輸入量	主な輸入先国（2013年度）		
124千トン （輸入量シェア）	オランダ （22%）	イタリア （21%）	米 国 （20%）

出典：貿易統計

注：輸入量は、殻付き換算ベース

【価格】

価格の推移（円/kg）					
年	2010	2011	2012	2013	2014
国内価格	187	196	179	194	222
国際価格	111	106	112	158	173

出典：JA全農たまご（株）（国内価格）、貿易統計（国際価格）

注1：国内価格は、全農東京M卵卸売価格

注2：国際価格は、全世界平均CIF価格

【国境措置】

関税率		国境措置の概要
一次税率 8.0～21.3%	二次税率 —	—

品目名	関税率	鶏卵輸入量に占める割合（2013年度）
殻付き卵（生鮮・冷蔵）	17.0%	1.9%
殻付き卵（その他） （ゆで卵等）	21.3%	0.5%
卵黄（乾燥）	18.8%	4.7%
卵黄（その他） （冷凍液卵等）	20%又は48円のうち いずれか高い税率	5.0%
全卵（乾燥）	21.3%	12.7%
全卵（その他） （冷凍液卵等）	21.3%又は51円のうち いずれか高い税率	3.0%
卵白	8.0%	72.3%

採卵鶏の飼養動向

- 飼養戸数は、小規模層を中心に近年4～6%程度減少している。
- 成鶏めす飼養羽数は、平成11年以降減少傾向で推移した後、19年は増加に転じたものの、20年以降は再び減少している。26年は増加した。
- 1戸当たり平均飼養羽数は、一貫して拡大している。

○採卵鶏飼養戸数、羽数の推移

(各年2月1日現在)

区 分	15	16	18	19	20	21	23	24	25	26
飼養戸数(千戸)	4.34	4.09	3.60	3.46	3.30	3.11	2.93	2.81	2.65	2.56
(対前年増減率)	(▲4.2)	(▲5.8)	(▲12.0)	(▲3.9)	(▲4.6)	(▲5.8)	(▲5.8)	(▲4.1)	(▲5.7)	(▲3.4)
うち成鶏めす10万羽以上層(千戸)	0.36	0.35	0.35	0.37	0.36	0.35	0.34	0.33	0.33	0.32
シェア(%)	(9.1)	(9.3)	(10.7)	(11.6)	(11.9)	(12.4)	(12.5)	(12.8)	(13.5)	(14.0)
成鶏めす羽数(百万羽)	137.3	137.2	136.9	142.8	142.5	139.9	137.4	135.5	133.1	133.5
(対前年増減率)	(▲0.3)	(▲0.1)	(▲0.2)	(4.3)	(▲0.2)	(▲1.8)	(▲1.8)	(▲1.4)	(▲1.8)	(0.3)
うち10万羽以上層(百万羽)	73.1	74.4	82.3	88.5	91.5	91.0	90.1	90.3	91.6	93.5
シェア(%)	(53.5)	(54.5)	(60.1)	(62.0)	(64.3)	(65.2)	(65.7)	(66.8)	(68.8)	(70.0)
1戸当たり平均 飼養羽数(羽)	31,600	33,500	38,000	41,300	43,200	45,000	46,900	48,200	50,200	52,200

資料:農林水産省「畜産統計」

注:1)種鶏のみの飼養者を除く。

2)数値は成鶏めす羽数1,000羽未満の飼養者を除く数値である。

3)18年、23年の対前年増減率は、前々年との比較によるものである。

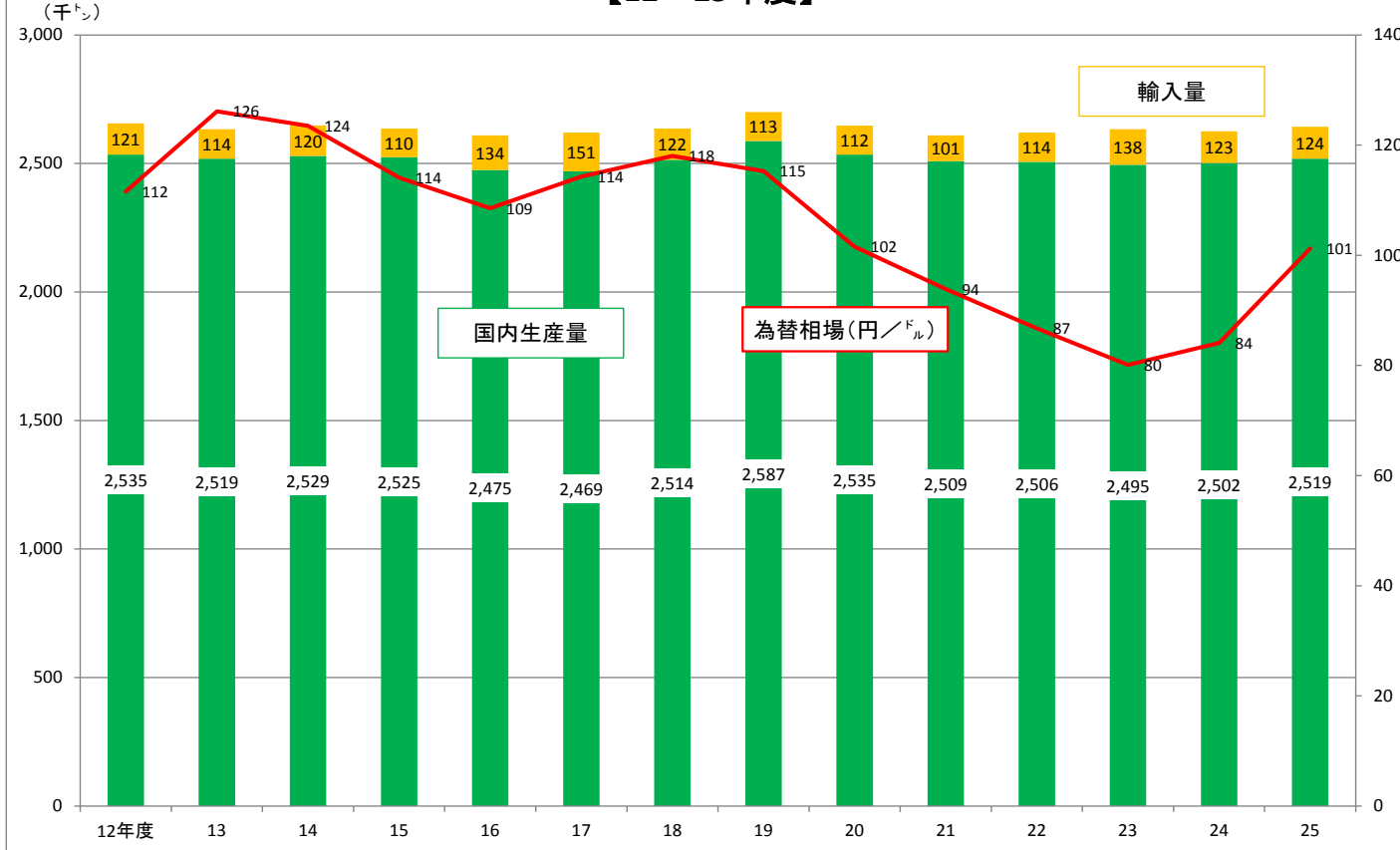
(17年、22年、27年はセンサス年のため調査未実施)

鶏卵の供給量について

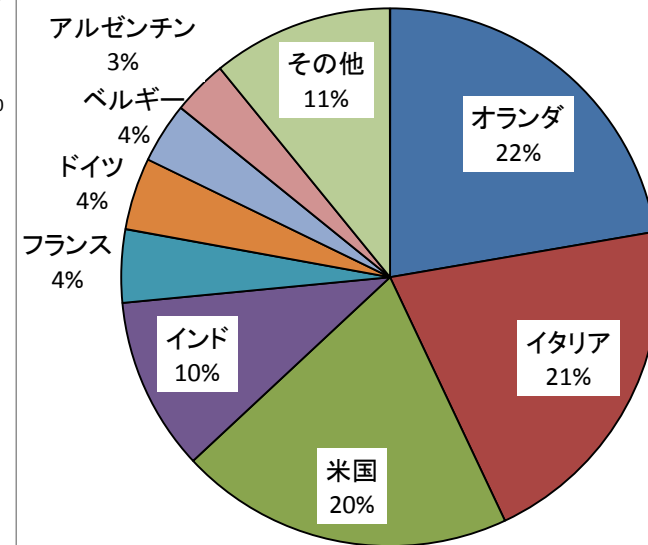
- 近年輸入量は12万トン前後で安定して推移しており、国内消費量に占める輸入量の割合は約5%である。
- TPP参加国からの輸入の大宗を米国が占め、全輸入量に占める米国の割合は約20%である。
- 米国からの輸入は、そのほとんどが粉卵及び液卵等の加工卵であり、これらの鶏卵は比較的安価な菓子パンや練り物(かまぼこ等)等の原料として利用される等、用途は限定的である。

鶏卵の国内生産量及び輸入量の推移

【12～25年度】



国別輸入割合(平成25年度)



【輸入量: 124千トン】

資料: 鶏卵流通統計(生産量)、貿易統計(輸入量)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(為替相場)

注: 輸入量は殻付換算

鶏卵のタリフライン別輸入実績(2013年度)

■ 鶏卵の輸入実績(2013年度)																		
HSコード	0407-21-000		0407-90-200		0408-11-000		0408-19-000		0408-91-000		0408-99-000		3502-11-000		3502-19-000		合 計	
税 率	17.0%		21.3%		18.8%		20%又は48円/kg		21.3%		21.3%又は51円/kg		8.0%		8.0%			
品 名	殻付き卵 生鮮・冷蔵・冷凍		殻付き卵 その他		卵 黄 乾 燥		卵 黄 その他		全 卵 乾 燥		全 卵 その他		卵白アルブミン 乾 燥		卵白アルブミン その他			
国 名	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %
オランダ		0		0	7	0		0	21	0		0	27,658	31		0	27,686	22
イタリア		0		0		0		0	46	0		0	25,633	29		0	25,679	21
米国	2,270	99		0	4,885	84	6,204	100	9,209	58	214	6	2,148	2	0	100	24,931	20
インド		0		0	726	13		0	2,610	17		0	9,592	11		0	12,929	10
フランス		0		0		0		0		0		0	5,448	6		0	5,448	4
ドイツ	30	1		0		0		0	537	3		0	4,810	5		0	5,377	4
ベルギー		0		0		0		0		0	12	0	4,497	5		0	4,509	4
アルゼンチン		0		0		0		0	2,503	16		0	1,588	2		0	4,091	3
メキシコ		0		0	91	2		0	164	1		0	3,199	4		0	3,454	3
中国		0	454	77	13	0	0	0	363	2	1,798	48	681	1		0	3,310	3
ブラジル		0		0		0		0		0		0	2,013	2		0	2,013	2
タイ		0		0		0		0		0	1,679	45		0		0	1,679	1
ペルー		0		0		0		0		0		0	1,579	2		0	1,579	1
カナダ		0		0	64	1		0	121	1		0	488	1		0	672	1
ベネズエラ		0		0		0		0		0		0	344	0		0	344	0
ラトビア		0		0		0		0	239	2		0		0		0	239	0
台湾		0	136	23		0	3	0		0		0		0		0	139	0
スペイン		0		0		0		0		0		0	47	0		0	47	0
ベトナム		0		0		0		0		0	20	1		0		0	20	0
オーストラリア	2	0		0		0		0		0		0		0		0	2	0
フィリピン		0		0		0	0	0		0		0		0		0	0	0
TPP参加国計	2,273	99	0	0	5,040	87	6,204	100	9,493	60	234	6	7,414	8	0	100	30,658	25
総 計	2,303	100	590	100	5,786	100	6,208	100	15,813	100	3,723	100	89,725	100	0	100	124,148	100
資料:貿易統計																		

輸入鶏卵の主な用途について

HSコード	関税率	品目名	品目イメージ	主な用途	輸入量(H25) 〔TPP参加国〕 シェア	CIF価格(H25)
0407-21-000	17.0%	殻付き卵(冷蔵・冷凍)		幅広い 業務・加工用	約2千トン (99%)	295円/kg
0407-90-200	21.3%	殻付き卵(その他)		ゆで卵、 ピータン等	約0.6千トン (0%)	349円/kg
0408-11-000	18.8%	卵黄(乾燥)		菓子パン・ 菓子等の原料	約6千トン (80%)	248円/kg
0408-19-000	20% 又は 48円/kg	卵黄(その他) (冷凍液卵等)		マヨネーズ等の 原料	約6千トン (100%)	335円/kg
0408-91-000	21.3%	全卵(乾燥)		菓子パン・ 菓子等の原料	約1.6万トン (60%)	144円/kg
0408-99-000	21.3% 又は 51円/kg	全卵(その他) (冷凍液卵等)		菓子パン・ 菓子等の原料	約4千トン (6%)	430円/kg
3502-11-000	8.0%	卵白(乾燥)		かまぼこ等の 練り物の原料	約9万トン (8%)	133円/kg

資料:「貿易統計」 注:殻付き換算ベース。

鶏卵の価格動向

○ 鶏卵の卸売価格は、鶏卵の自給率が95%と高く、需要も概ね安定的に推移していることから、わずかな生産量の変動が大幅な価格変動につながりやすい傾向にあり、季節的な変動のほか5～6年を周期とするエッグサイクルが存在する。

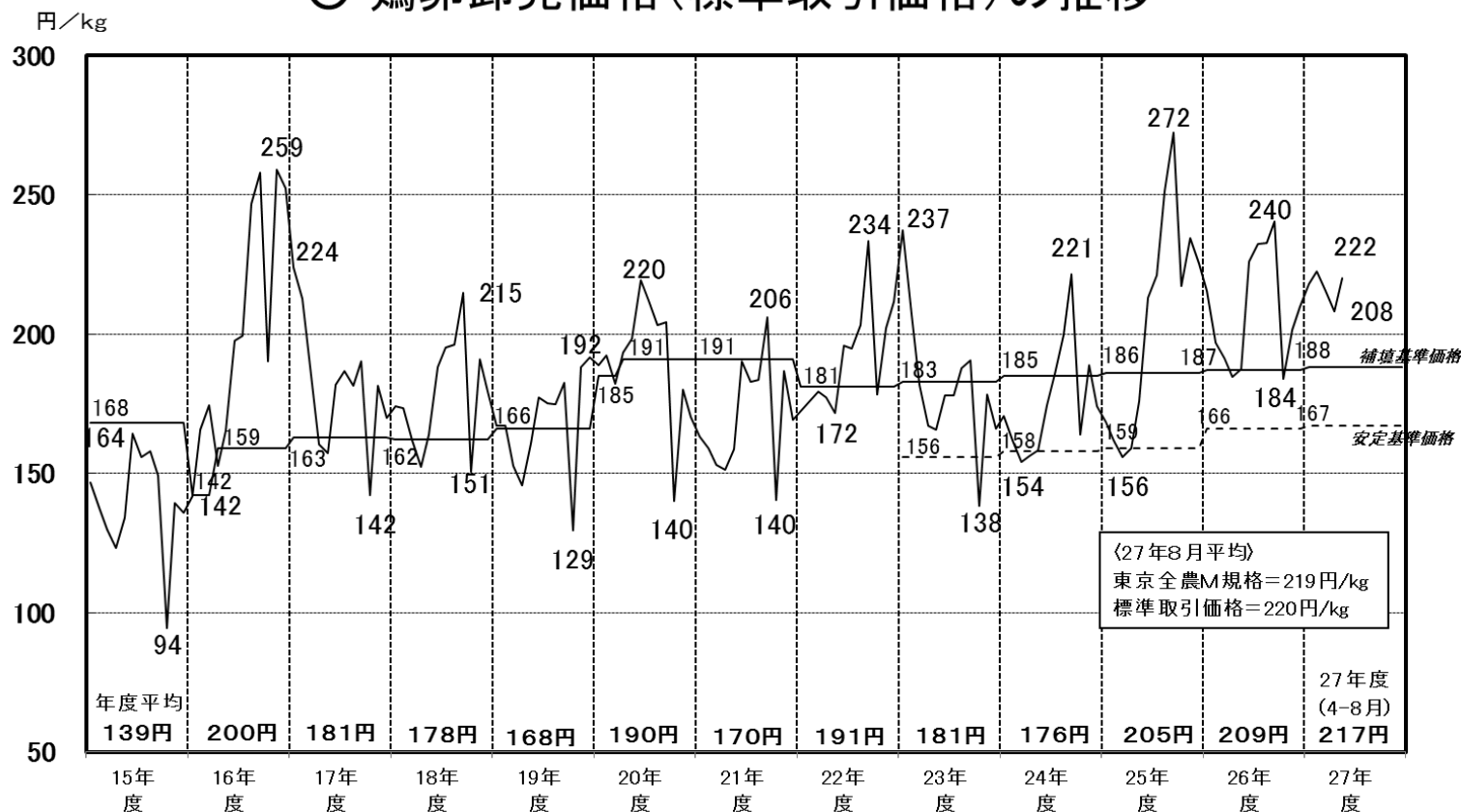
23年3月11日の東日本大震災の発生により一時的に飼料供給が滞ったこと等から供給が減少し、卸売価格が上昇。その後、供給が回復したことから価格は概ね平年並みで推移した。

24年度は、年度当初から低価格で推移し、標準取引価格(日毎)が安定基準価格を下回った時期があったため、成鶏更新・空舎延長事業が発動した。需要の回復等により、10月以降前年を上回って推移した。

25年度も、5月13日に標準取引価格(日毎)が安定基準価格を下回ったため、7月18日まで成鶏更新・空舎延長事業が発動した。8月以降、猛暑の影響等により上昇し、12月には272円/kgとなり、例年に比べて高水準で推移した。

26年度は、前年度秋以降の傾向に引き続き高水準で推移し、7月及び1月のみ標準取引価格(月毎)が補填基準価格を下回った。

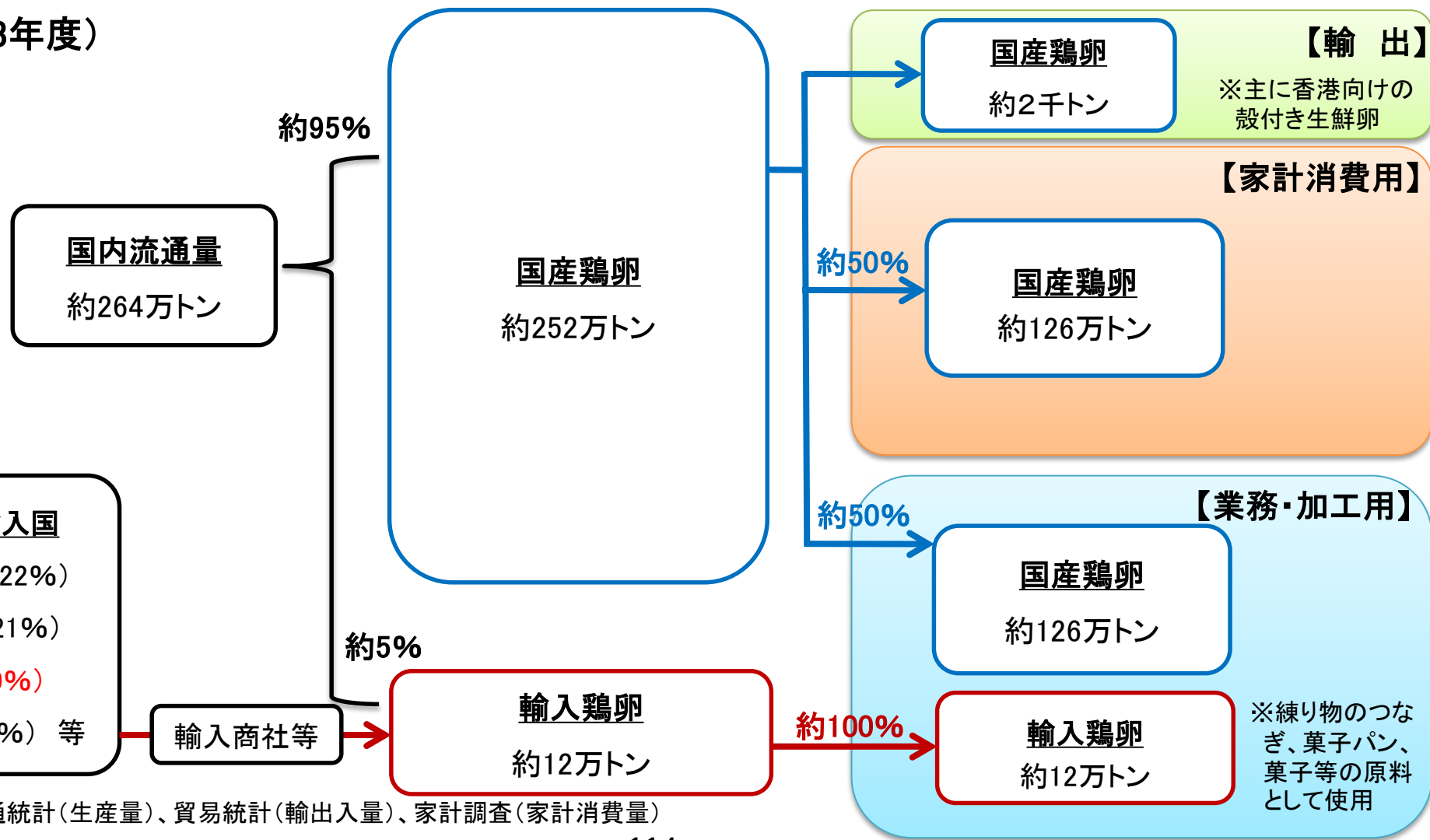
○ 鶏卵卸売価格(標準取引価格)の推移



鶏卵の流通

- 鶏卵の国内流通量は、約264万トンで、うち国産鶏卵が約252万トン、輸入鶏卵が約12万トン。
- 国産鶏卵は家計消費用と業務・加工用がほぼ1:1の比率で使用されるが、一方で、輸入鶏卵は業務・加工用として利用される。

(2013年度)

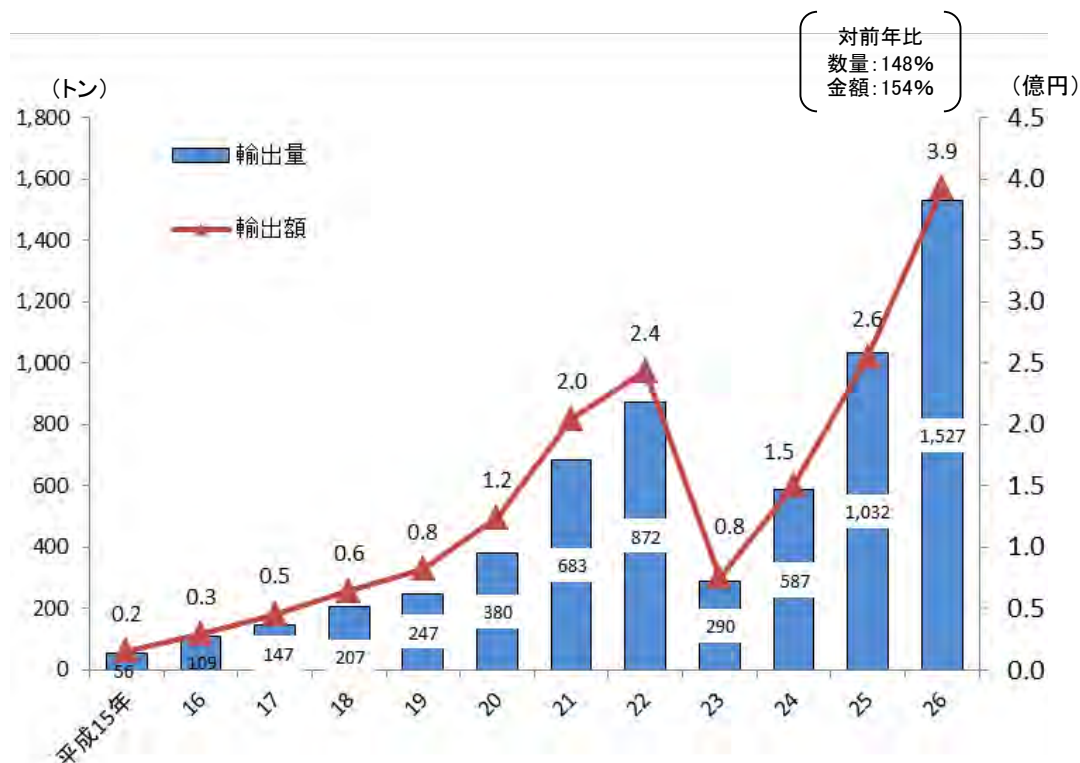


資料: 鶏卵流通統計(生産量)、貿易統計(輸出入量)、家計調査(家計消費量)

国産鶏卵の輸出について

- 高級食材としての需要を中心に、殻付き鶏卵の輸出は増加傾向で推移。輸出先は、輸送距離や輸出先国との衛生条件等の制約から、香港を始めとするアジアが中心。
- 平成23年は、鳥インフルエンザの発生(平成22年11月)等の影響により輸出量は減少したが、平成24年以降は、回復傾向で推移。

殻付き鶏卵の輸出実績



資料: 貿易統計

TPP参加国への輸出実績等

(殻付き鶏卵)	衛生条件 ^{注1}	関税率 ^{注2}	H26実績	
			輸出量 トン	輸出額 百万円
米国	協議中	0.028US\$/doz	—	—
カナダ	なし	0.0151CA\$/doz ^{注3}	—	—
メキシコ	なし	0%	—	—
チリ	なし	0%	—	—
ペルー	なし	0%	—	—
オーストラリア	なし	0%	—	—
ニュージーランド	なし	0%	—	—
ベトナム	なし	20%	—	—
マレーシア	なし	50%	—	—
シンガポール	あり	0%	1.5	1.8
ブルネイ	なし	0%	—	—
(参考) 香港	あり	0%	1,517	384
TPP計			1.5	1.8
全世界			1,523	391

注1: 衛生条件は、平成27年9月7日現在の状況。

注2: 平成27年度時点における税率

注3: 単価が0.799CA\$/dozを超える場合、163.5%の従価税が課される。

27年度の鶏卵生産者経営安定対策について

- 鶏卵価格が低落した場合に価格差補填を行うとともに、更に低落した場合、成鶏の更新に当たって長期の空舎期間を設け、需給改善を推進することにより、鶏卵生産者の経営と鶏卵価格の安定を図る。

1. 鶏卵価格差補填事業

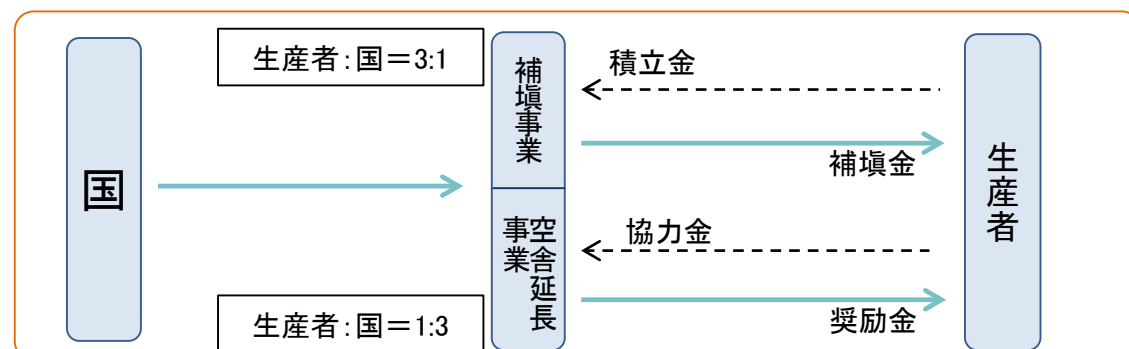
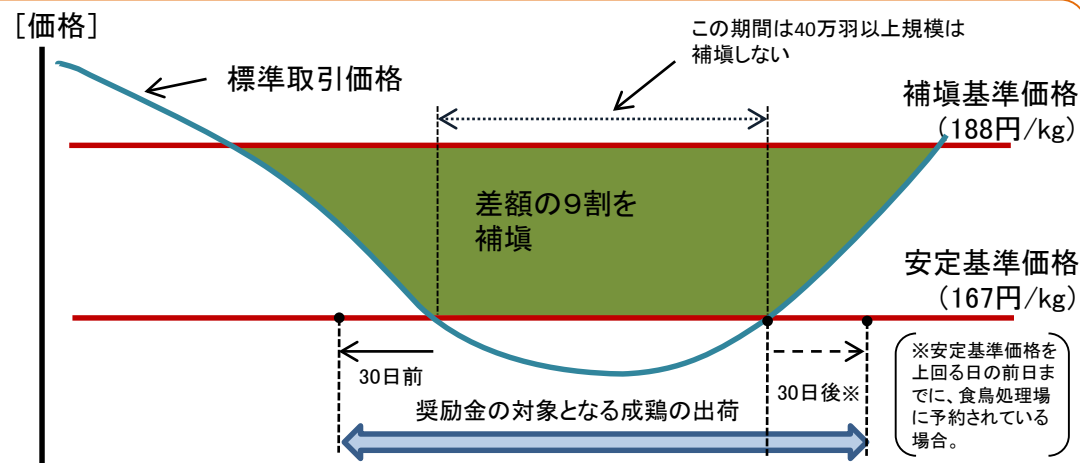
鶏卵の標準取引価格（月毎）が補填基準価格を下回った場合、その差額（補填基準価格と安定基準価格の差額を上限とする。）の9割を補填する。

〔2. の事業への協力金の拠出が要件〕

2. 成鶏更新・空舎延長事業

鶏卵の標準取引価格（日毎）が安定基準価格を下回る日の30日前から、安定基準価格を上回る日の前日までに、更新のために成鶏を出荷し、その後60日以上空舎期間を設けた場合に奨励金（210円/羽以内）を交付する。

【27年度予算額:52億円】



事業実績額の推移

【単位:百万円】

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(4-8月)
事業実績額	12,890	17,152	16,262	787	0
(うち国費分)	(3,219)	(5,029)	(4,731)	(198)	(0)

鶏 肉

- 鶏肉は、国内生産量約146万トン、輸入量約41万トンであり、国内供給量に占める輸入の割合は約22%。
- 鶏肉輸入量の9割以上を骨なし鶏肉が占めており(主な輸入先国はブラジル)、残りの約6%を丸どり及び骨付きもも肉が占めている(主な輸入先国は米国、フィリピン)。

【生産量】

国内生産量	主な生産地(2013年)		
1,459千トン (生産量シェア)	鹿児島県 (20%)	宮崎県 (19%)	岩手県 (17%)

出典:食鳥流通統計

注:国内生産量は、骨付き肉ベース

【輸入量】

輸入量	主な輸入先国(2013年)		
414千トン (輸入量シェア)	ブラジル (93%)	米 国 (5%)	フィリピン (1%)

出典:貿易統計

注:輸入量は、鶏肉調製品を含まない。

【価格】

価格の推移(円/kg)					
年	2010	2011	2012	2013	2014
国内価格	428	459	382	424	463
国際価格	169	206	183	216	236

出典:食鳥市況情報(国内価格)、貿易統計(国際価格)

注1:国内価格は、もも・むね平均卸売価格(東京)

注2:国際価格は、米国産CIF価格

【国境措置】

関税率		国境措置の概要
一次税率 8.5～11.9%	二次税率 —	—

品目名	関税率	鶏肉輸入量に 占める割合 (2013年)
丸どり	11.9%	1.2%
骨付きもも肉	8.5%	4.9%
その他 (骨なし肉等)	11.9%	93.9%

肉用鶏の飼養動向について

- 飼養戸数は、小規模の飼養者層を中心に減少傾向で推移している。飼養羽数についても概ね減少傾向で推移してきたが、近年は概ね横ばいで、増減を繰り返して推移している。
- 1戸当たり平均の飼養羽数は拡大しており、特に出荷羽数50万羽以上の大規模層のシェアは、戸数、羽数ともに拡大傾向で推移している。

○ 肉用若鶏の飼養戸数、羽数の推移

区 分 / 年	15	16	17	18	19	20	21	...	25	26
飼養戸数(戸)	2,839	2,778	2,652	2,590	2,583	2,456	2,392	...	2,420	2,380
(対前年増減率)	(▲2.1)	(▲2.1)	(▲4.5)	(▲2.3)	(▲0.3)	(▲4.9)	(▲2.6)	...	(－)	(▲1.7)
飼養羽数(千羽)	103,729	104,950	102,277	103,687	105,287	102,987	107,141	...	131,624	135,747
(対前年増減率)	(▲1.8)	(1.2)	(▲2.5)	(1.4)	(1.5)	(▲2.2)	(4.0)	...	(－)	(3.1)
出荷戸数(戸)	3,323	3,240	3,120	3,065	2,991	2,925	—	...	2,440	2,410
うち50万羽以上層 (戸数シェア)	150 (4.5)	157 (4.8)	170 (5.4)	185 (6.0)	194 (6.5)	203 (6.9)	— —		225 (9.2)	230 (9.5)
出荷羽数(千羽)	595,283	589,957	606,898	621,820	622,834	629,766	—	...	649,778	652,441
うち50万羽以上層 (出荷羽数シェア)	175,759 (29.5)	179,296 (30.4)	195,529 (32.2)	211,470 (34.0)	217,617 (34.9)	225,436 (35.8)	— —		270,778 (41.7)	270,971 (41.5)
1戸当たり平均 飼養羽数(羽)	36,500	37,800	38,600	40,000	40,800	41,900	44,800	...	54,400	57,000
1戸当たり平均 出荷羽数(羽)	179,100	182,100	194,500	202,900	208,200	215,300	—	...	266,300	270,700

資料：農林水産省「畜産物流通統計」(平成21年まで)、「畜産統計」(平成25年以降)

注1：飼養戸数及び飼養羽数は各年2月1日現在。

注2：平成25年以降の数値は、出荷羽数年間3,000羽未満の飼養者を除く。

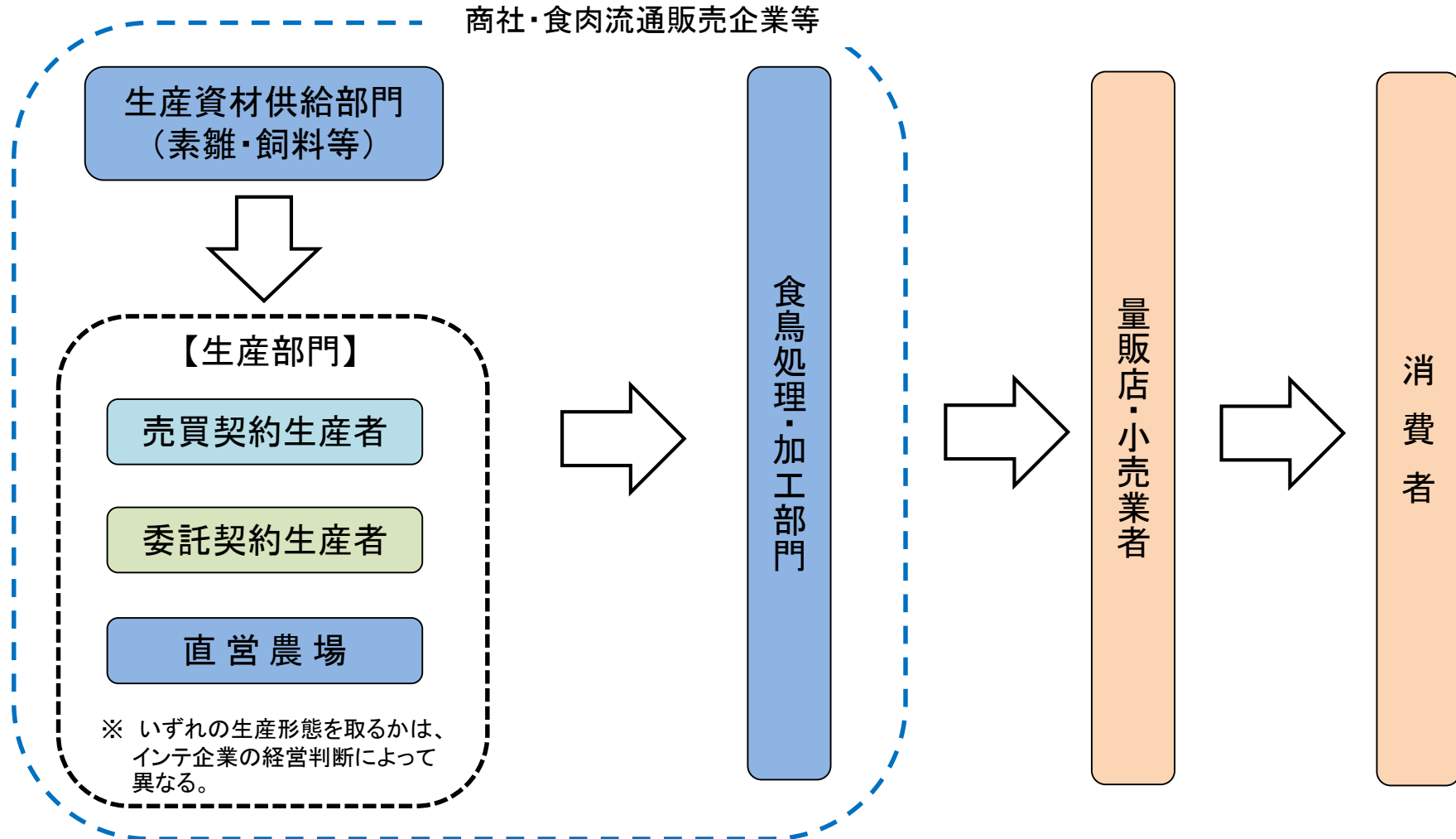
注3：平成21年までと25年以降は、調査方法が異なるため取扱に留意する必要がある。

注4：平成27年はセンサス年のため調査未実施。

ブロイラー産業のインテグレーション(垂直統合)について

○ インテグレーション(垂直統合)とは、総合商社や食肉流通販売企業、農協等(いわゆるインテ企業)が、素雛、飼料等の生産資材をブロイラー生産農家に供給し、生産したブロイラーの処理・加工・流通・販売までを一貫して行う業態のことであり、現在の鶏肉生産のほとんどがインテグレーション化された生産構造の中で行われている。

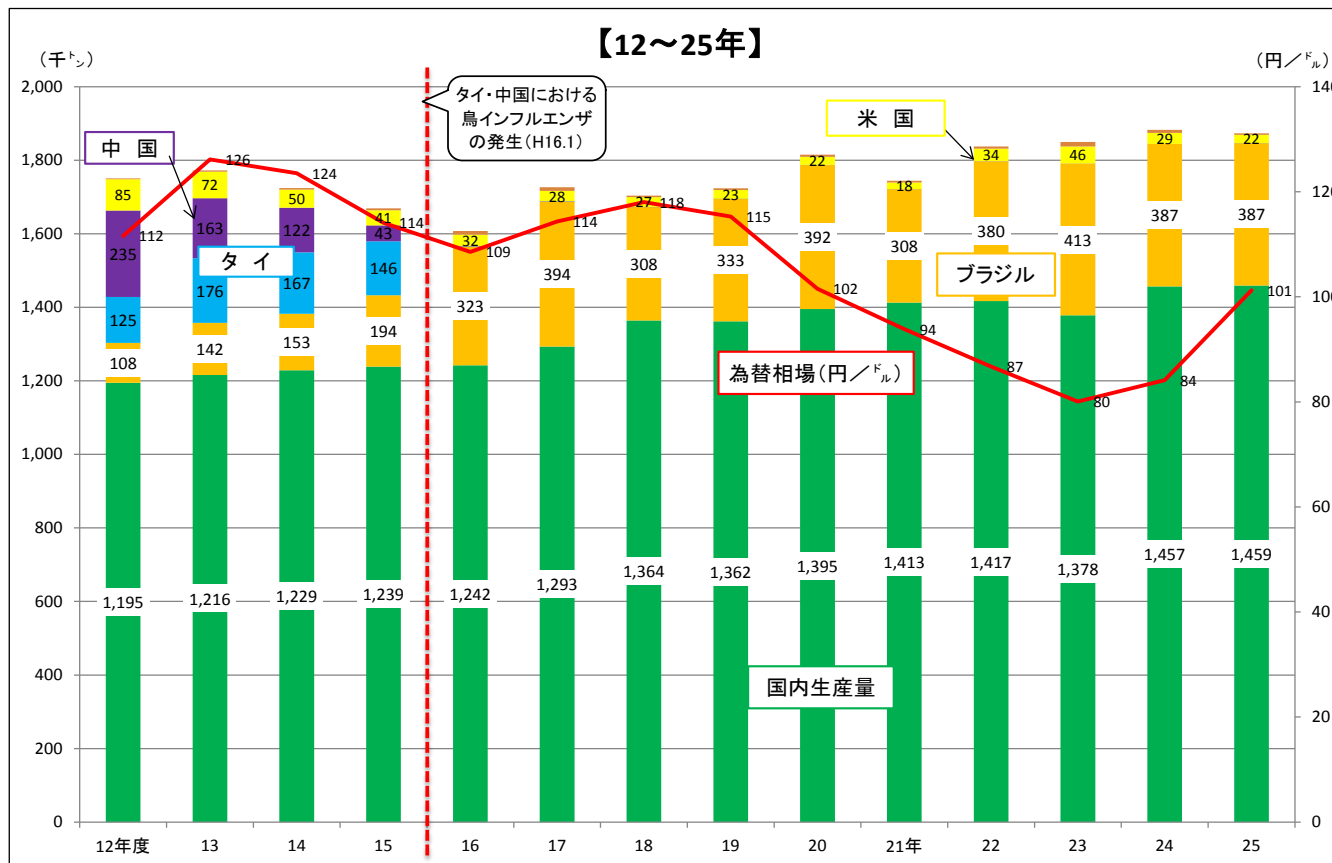
<インテグレーション化の一例>



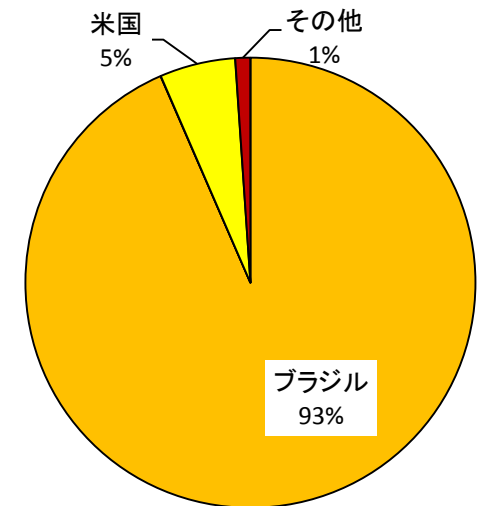
鶏肉の供給量について

- 近年の鶏肉輸入量は約40～50万トで推移しており、国内供給量に占める輸入量の割合は約22%。
- 平成16年1月の中国及びタイにおける鳥インフルエンザ発生以降は、輸入国をブラジルに切り替え、ブラジル産の鶏肉が8～9割のシェアを占める傾向が続いている。
- TPP参加国からの輸入の大宗を米国が占め、全鶏肉輸入量に占める米国の割合は約5%である。
- 米国からの輸入は、そのほとんどが冷凍骨付きもも肉となっており、この鶏肉は骨付きの状態で、ポトフやスープカレー等の具材や年末需要のある骨付きローストチキン等として利用される等、用途は限定的である。

鶏肉の国内生産量及び輸入量の推移



国別輸入割合 (平成25年)



【輸入量: 414千トン】

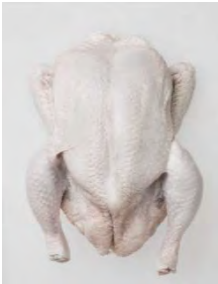
資料: 食鳥流通統計 (生産量)、貿易統計 (輸入量)、三菱UFJリサーチ & コンサルティング (為替相場)

注: 平成21年以降は、生産量及び輸入量は年次ベース。なお、輸入量に鶏肉調製品は含まれない。

鶏肉のトリフライン別輸入実績(2013年)

■ 鶏肉の輸入実績(2013年)												
HSコード	0207-11-000		0207-12-000		0207-13-200		0207-14-210		0207-14-220		総 計	
税 率	11.9%		11.9%		11.9%		8.5%		11.9%			
品 名	丸 鶏 生鮮・冷蔵		丸 鶏 冷 凍		その他(骨なし肉等) 生鮮・冷蔵		骨付きもも肉 冷 凍		その他(骨なし肉等) 冷 凍			
国 名	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %	輸入量 トン	比率 %
ブラジル		0	4,639	95		0	243	1	382,320	98	387,202	93
米国		0		0		0	19,359	95	3,101	1	22,460	5
フィリピン		0	117	2		0	602	3	2,900	1	3,618	1
チリ		0		0		0	3	0	416	0	420	0
アルゼンチン		0	14	0		0	27	0	99	0	140	0
フランス	13	100	95	2	0	41	13	0	5	0	126	0
ポーランド		0		0		0	70	0	36	0	106	0
中国		0		0		0		0	100	0	100	0
デンマーク		0		0		0	59	0		0	59	0
ニュージーランド		0	7	0	1	59		0	0	0	8	0
スペイン		0	1	0		0	2	0	1	0	4	0
うちTPP参加国	0	0	7	0	1	59	19,362	95	3,518	1	22,888	6
総 計	13	100	4,874	100	1	100	20,377	100	388,978	100	414,243	100
資料: 貿易統計												

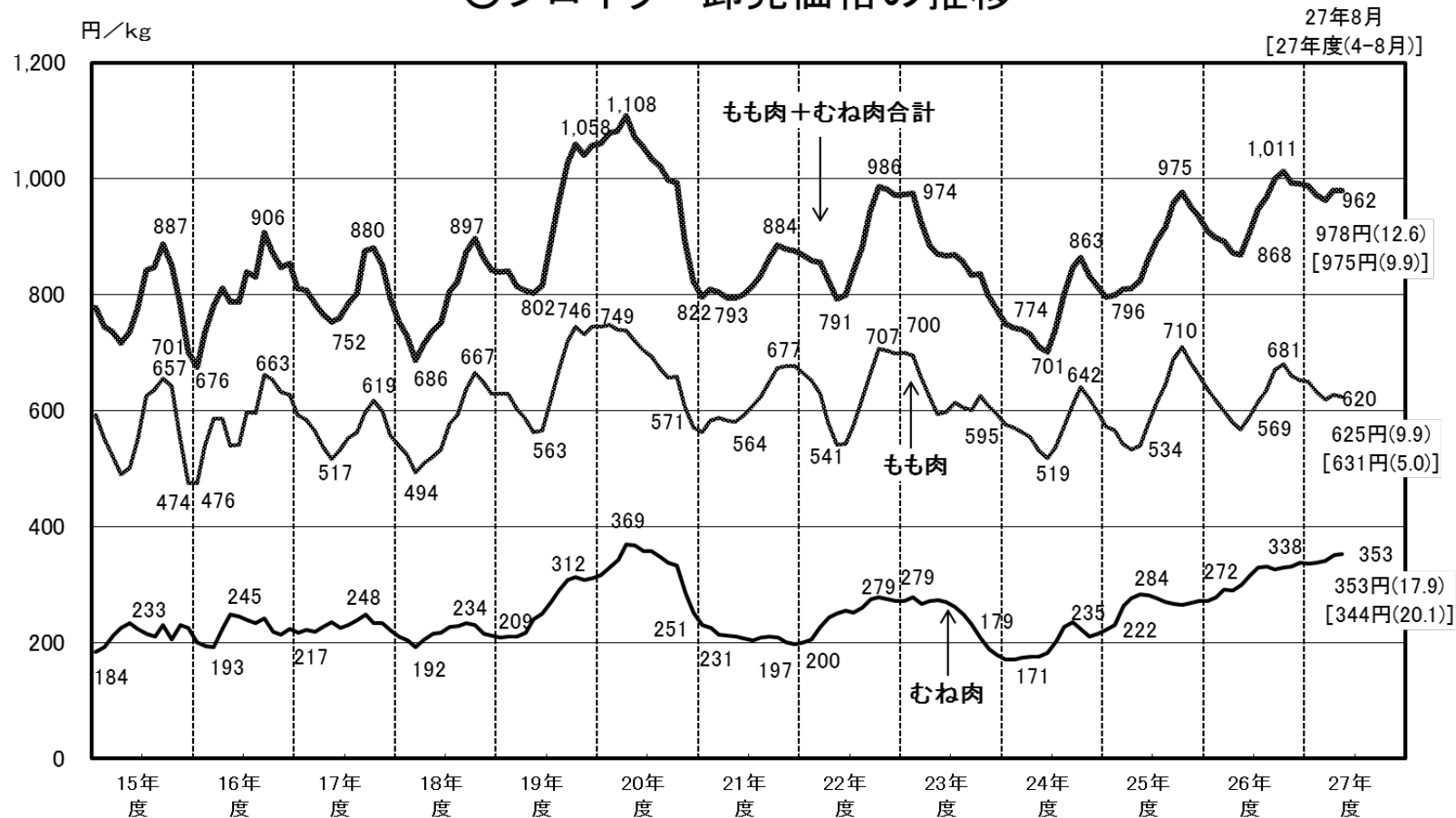
輸入鶏肉の主な用途について

HSコード	関税率	品目名	品目イメージ	主な用途	輸入量(H25) 〔TPP参加国 シェア〕	CIF価格(H25)
0207-12-000	11.9%	冷凍丸どり		ローストチキン等 業務・加工用として 丸鶏のまま利用される ことが多い。	約5千トン (0.2%)	235円/kg
0207-14-210	8.5%	冷凍骨付き肉		ローストチキン、ポトフ等 業務・加工用として 骨付きもも肉のまま 利用されることが多い。	約2万トン (95%)	201円/kg
0207-14-220	11.9%	冷凍骨なし肉		唐揚げ、焼き鳥等 業務・加工用として 利用されることが多い。	約39万トン (1%)	268円/kg

鶏肉の価格動向について

- もも肉価格は、通常、夏場の不需要期に向けて価格が低下し、年末の需要期に向けて価格が上昇するサイクルで推移。
23年度の後半からは、震災後の輸入増加により軟調に推移したものの、25年度後半には回復基調に転じ、それ以降は堅調な需要に支えられ、比較的高水準に推移している。
- むね肉価格は、23年度の後半からは、震災後の輸入増加により軟調に推移したが、24年度の後半からは加工向け需要の伸び等により堅調に推移している。

○ブロイラー卸売価格の推移



資料：農林水産省「食鳥市況情報(東京)」

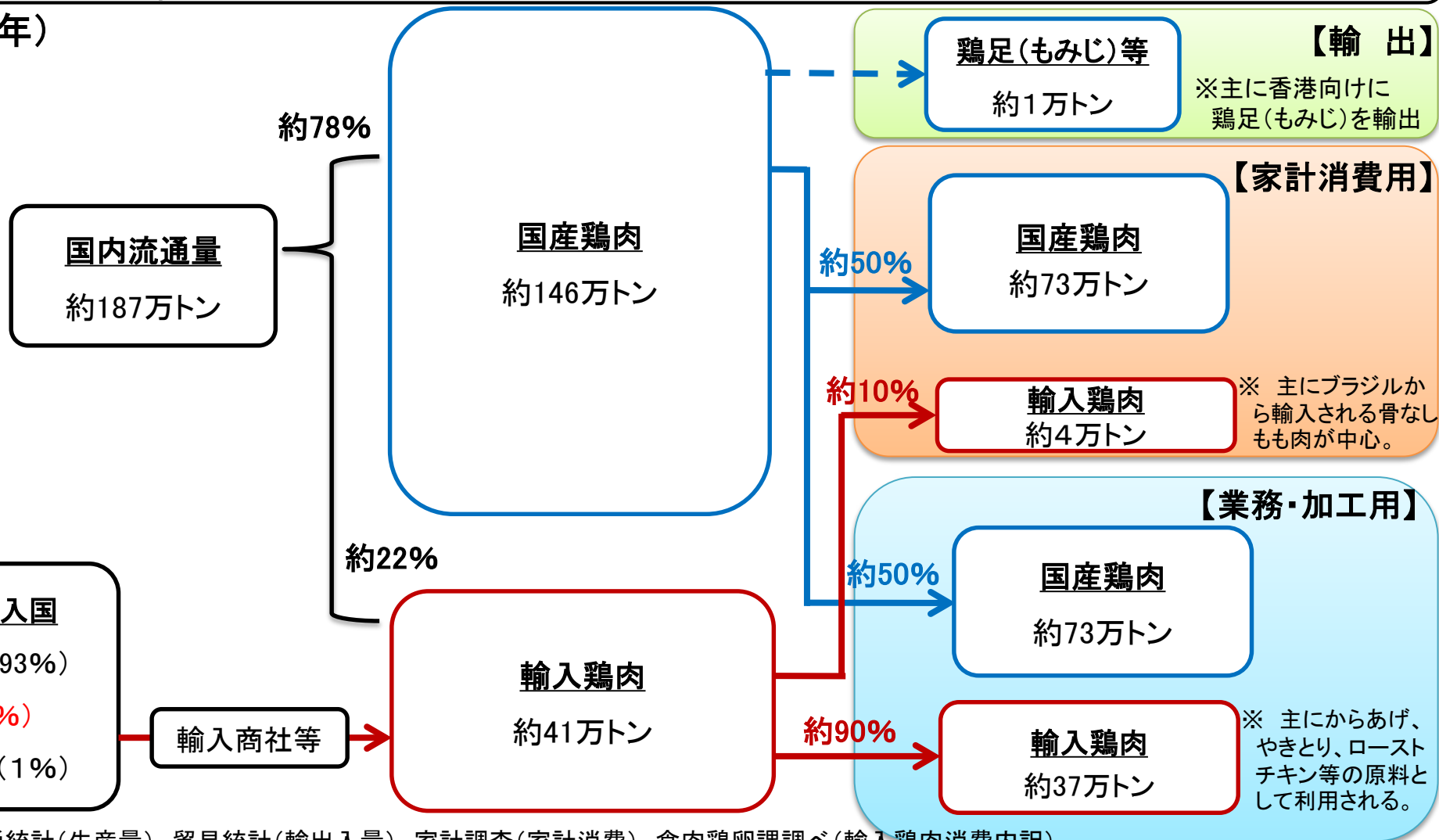
注1：もも肉+むね肉合計は、もも肉1kg卸売価格とむね肉1kg卸売価格の単純合計

注2：()内は、対前年同月騰落率

鶏肉の流通

- 鶏肉の国内流通量は、約187万トンで、うち国産鶏肉が約146万トン、輸入鶏肉が約41万トン。
- 国産鶏肉は家計消費と業務・加工用がほぼ1:1の比率で使用されるが、一方で、輸入鶏肉はそのほとんどが業務・加工用として利用される。

(2013年)



資料:食鳥流通統計(生産量)、貿易統計(輸出入量)、家計調査(家計消費)、食肉鶏卵課調べ(輸入鶏肉消費内訳)

国産鶏肉等の輸出について

- 国内では需要の少ないもみじ(鶏足)を中心に、飲茶等の食材として香港、カンボジア、ベトナム等へ輸出。
- 平成23年は、鳥インフルエンザの発生(平成22年11月)等の影響により輸出量は減少したが、平成24年以降は、回復傾向で推移。

国産鶏肉等の輸出実績



資料: 貿易統計

注: 国産鶏肉等には、肝臓やもみじ(鶏足)等の副産物も含まれているが、統計上、その内訳は不明。なお、業界からの聞き取りによれば、輸出実績の大宗をもみじ(鶏足)が占めると聞いている。

TPP参加国への輸出実績等

(冷凍鶏肉)	衛生条件 ^{注1}	関税率 ^{注2}	枠数量	H26実績	
				輸出量 トン	輸出額 百万円
米国	協議中	0.176US\$/kg	—	—	—
カナダ	なし	5% ^{注3}	—	—	—
メキシコ	なし	(枠内)75% (枠外)125%	8,500トン	—	—
チリ	なし	(枠内)4.2% (枠外)6%	5,500トン	—	—
ペルー	なし	6%	—	—	—
オーストラリア	なし	0%	—	—	—
ニュージーランド	なし	5%	—	—	—
ベトナム	あり	10%	—	379	67
マレーシア	なし	40%	—	—	—
シンガポール	協議中	0%	—	—	—
ブルネイ	なし	0%	—	—	—
(参考) 香港	あり	0%	—	7,574	1,111
TPP計				379	67
全世界				10,823	1,703

注1: 衛生条件は、平成27年9月7日現在の状況。

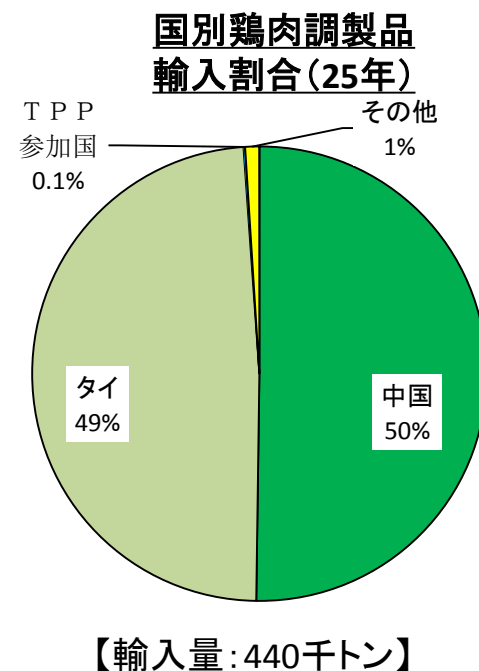
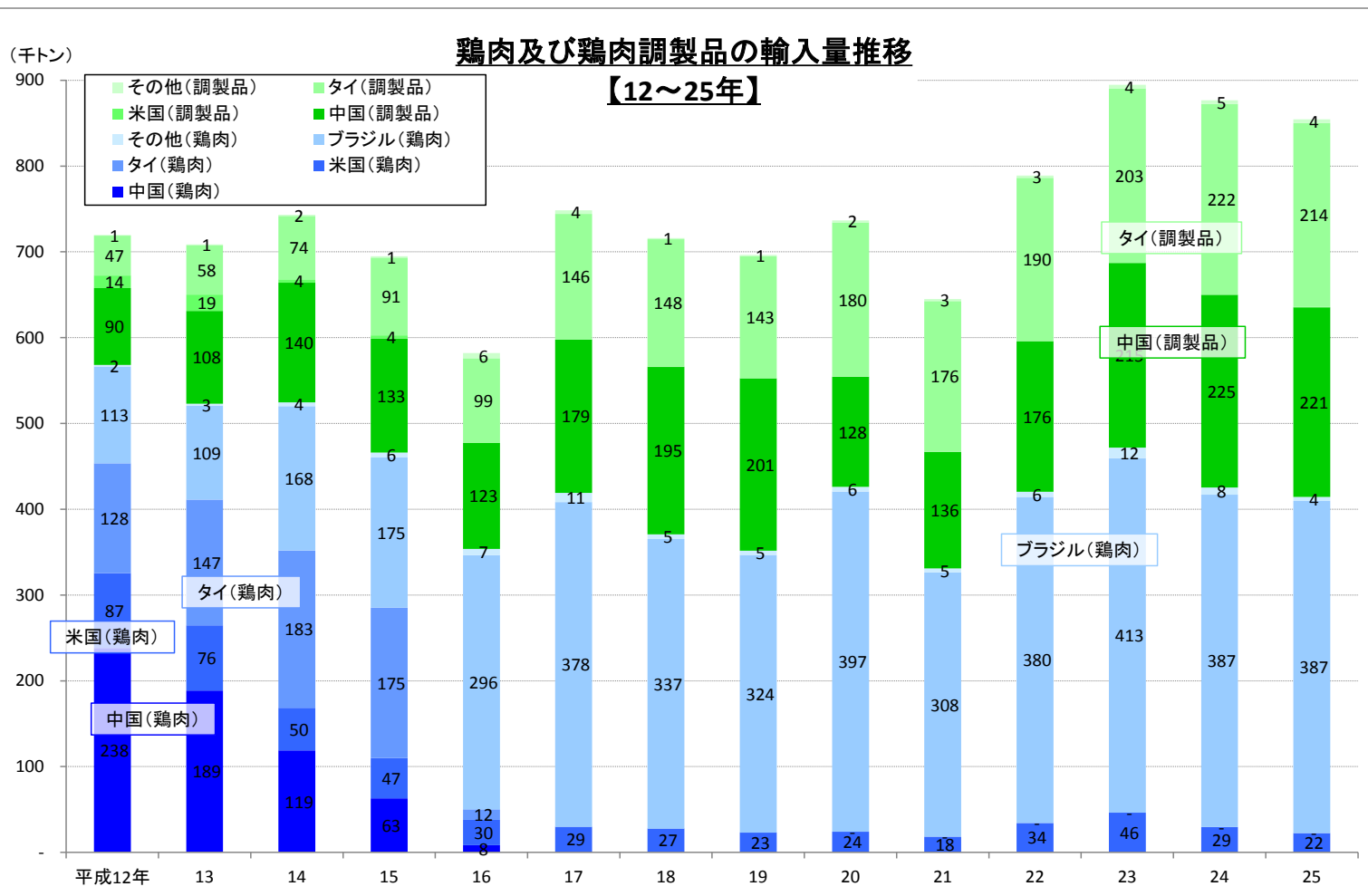
注2: 平成27年度時点における税率

注3: 単価が6.74CA\$/kgを超える場合、249%の従価税が課される。

鶏肉調製品の輸入量について

○ 鶏肉調製品（からあげ、やきとり等）の輸入量は、平成16年1月のタイ及び中国での鳥インフルエンザの発生以降、増加傾向で推移している。

○ タイ及び中国が輸入シェアのほぼ半分ずつを占めており、TPP参加国からの輸入はごくわずか。



天然はちみつ

- 天然はちみつは、国内生産量が約3千トン、輸入量が約4万トンで、国内消費量に占める輸入の割合は9割を超える。
- 輸入量の約8割を中国からの安価なはちみつが占め、残りの2割をアメリカ大陸やヨーロッパ等からの比較的高価なはちみつが占めている。

【生産量】

国内生産量	主な生産地(2013年)		
2,841 ^{トン} (生産量シェア)	北海道 (14%)	秋田県 (8%)	熊本県 (7%)

出典: 畜産振興課調べ

【輸入量】

輸入量	主な輸入先国(2013年)		
39,030 ^{トン} (輸入量シェア)	中国 (77%)	アルゼンチン (8%)	カナダ (6%)

出典: 貿易統計

【価格】

価格の推移(円/kg)					
年	2010	2011	2012	2013	2014
国内価格	1,000円/kg～2,300円/kg				
国際価格	220	231	228	291	336

出典: 畜産振興課調べ(国内価格)、貿易統計(国際価格)

注1: 国内価格は、(一社)日本養蜂協会からの聞き取り

注2: 国際価格は、全世界CIF価格

【国境措置】

関税率		国境措置の概要
一次税率 25.5%	二次税率 —	—

【国別輸入量(2013年)】

国名	輸入量(トン)	比率(%)
中国	30,006	77
アルゼンチン	3,044	8
カナダ	2,407	6
ミャンマー	1,177	3
ハンガリー	740	2
ニュージーランド	522	1
メキシコ	223	1
ルーマニア	123	0
スペイン	118	0
オーストラリア	114	0
フランス	104	0
ベトナム	101	0
ドイツ	65	0
イタリア	64	0
米国	48	0
その他	175	0
TPP参加国計	3,414	9
総計	39,030	100

蜜蜂の飼育動向

○ 蜜蜂の飼育戸数及び蜂群数は平成22年以降増加で推移。(平成25年以降、届出義務を趣味養蜂にも拡大。)

○ 平成26年の蜜蜂の飼育戸数は9,306戸、蜂群数(※)は209.6千群。
(※ 蜂群数は1月1日時点の調査で、夏期には増殖等で2倍以上になる。)

○ 蜜源植物の植栽面積は減少傾向で推移。平成25年は148千ヘクタール。

蜜蜂飼育戸数、蜂群数の推移

(単位:戸、千群、群/戸、%) ※

区分	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
飼育戸数	9,499	8,281	7,235	5,342	4,790	5,353	5,790	5,934	8,312	9,306
蜂群数	285	253	214	184	178	175	184	184	204	210
平均蜂群数	30.0	30.6	29.6	34.5	34.4	32.8	31.9	31.1	24.5	22.5

資料:畜産振興課

各年とも1月1日現在

※ H25年以降は改正後の養蜂振興法に基づく届出数。

蜜蜂飼育戸数等の上位10県(H26年)

(単位:戸、千群、%)

区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
飼育戸数	長野	静岡	神奈川	和歌山	愛媛	岐阜	愛知	福島	岡山	鹿児島
戸	685	497	386	379	378	360	344	341	308	306
%	7.4	5.3	4.1	4.1	4.1	3.9	3.7	3.7	3.3	3.3
蜂群数	長野	和歌山	熊本	鹿児島	沖縄	福岡	福島	北海道	岐阜	埼玉
千群	12.4	11.4	10.6	10.3	9.9	8.8	8.3	7.3	7.1	6.7
%	5.9	5.4	5.0	4.9	4.7	4.2	4.0	3.5	3.4	3.2

資料:畜産振興課調べ

平成26年1月1日現在の調査

蜜源植物の植栽面積の推移

(単位:千ヘクタール、%)

区分	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年
みかん	143.7	100.4	87.6	78.4	62.1	52.8	52.4	51.3	43.8
れんげ	21.9	18.1	15.7	25.6	15.1	13.5	11.9	12.8	10.8
アカシア	7.6	9.1	8.5	10.3	8.0	7.1	9.3	8.6	7.5
りんご	45.2	46.3	35.5	34.6	29.6	6.3	23.8	23.4	22.1
その他	152.3	129.4	117.9	101.6	75.4	58.8	65.5	64.9	63.7
合計	370.7	303.3	265.2	250.5	190.3	138.4	162.9	160.9	148.0
(対前年比)	97.0	90.3	95.0	102.7	103.3	87.1	117.7	98.8	91.9

資料:畜産振興課調べ

各年とも1月から12月に蜜源として利用した植栽面積

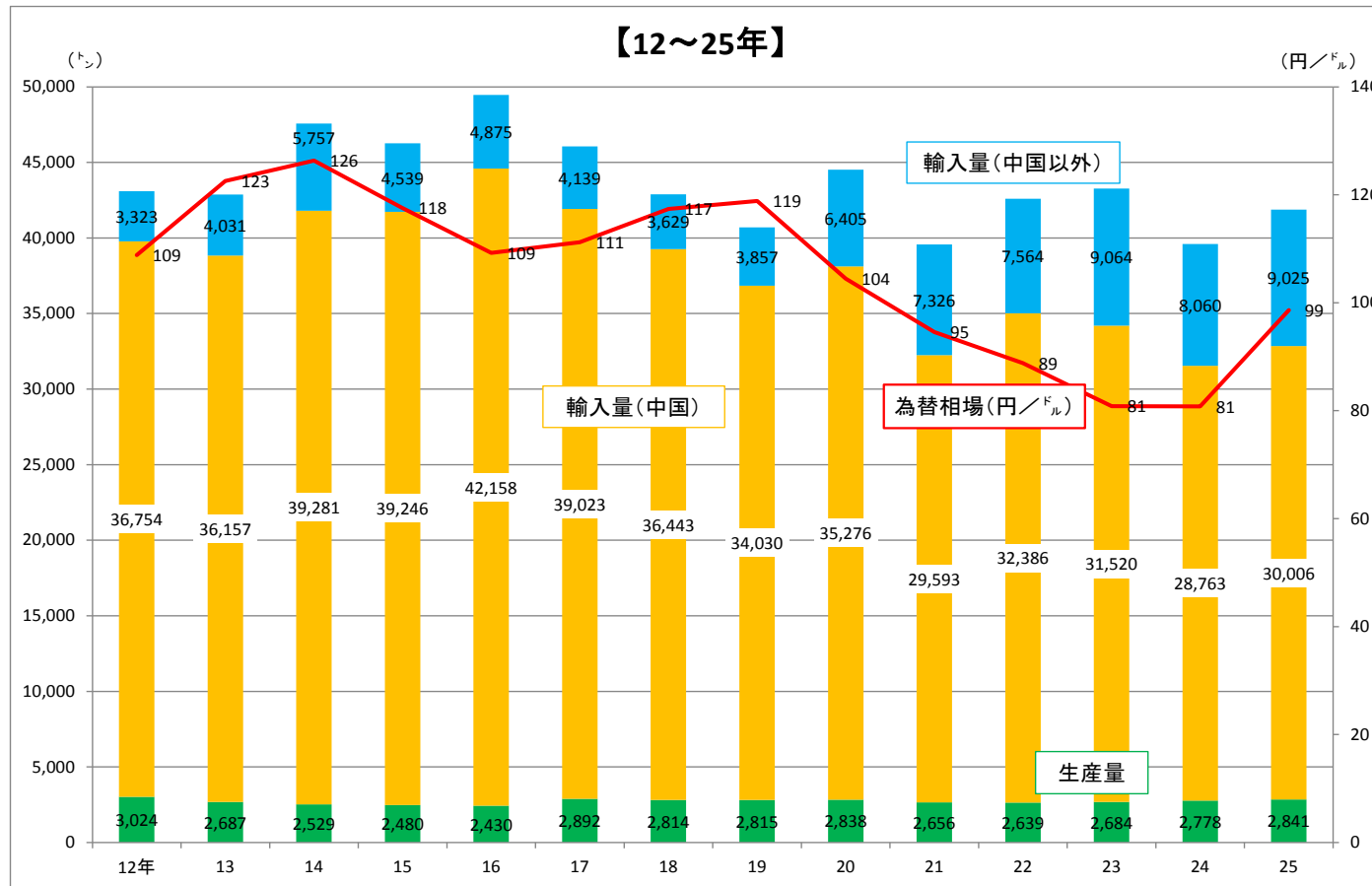
注:表中の数値は、各都道府県で把握しているものを集計。

なお、一部県の調査中止や調査再開もあり、数字の連続性はない。

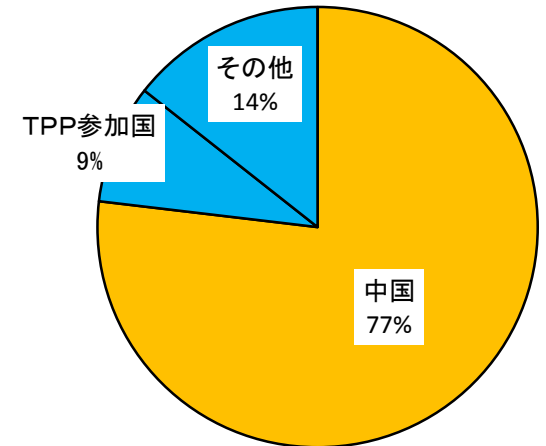
はちみつの供給量について

- 近年のはちみつ輸入量は約4万トン前後で推移しており、国内消費量に占める輸入量の割合は9割を超える。
 - 中国からの輸入が大宗を占めているが、近年、全輸入量に占める中国産の割合は減少傾向にあり、中国以外の国からの品質の高いはちみつの輸入量が増加傾向で推移している。
- こうした中で、国産はちみつには一定の需要が存在するため、国内生産量は約3千トンで安定的に推移している。

はちみつの生産量と輸入量の推移



国別輸入割合(平成25年)



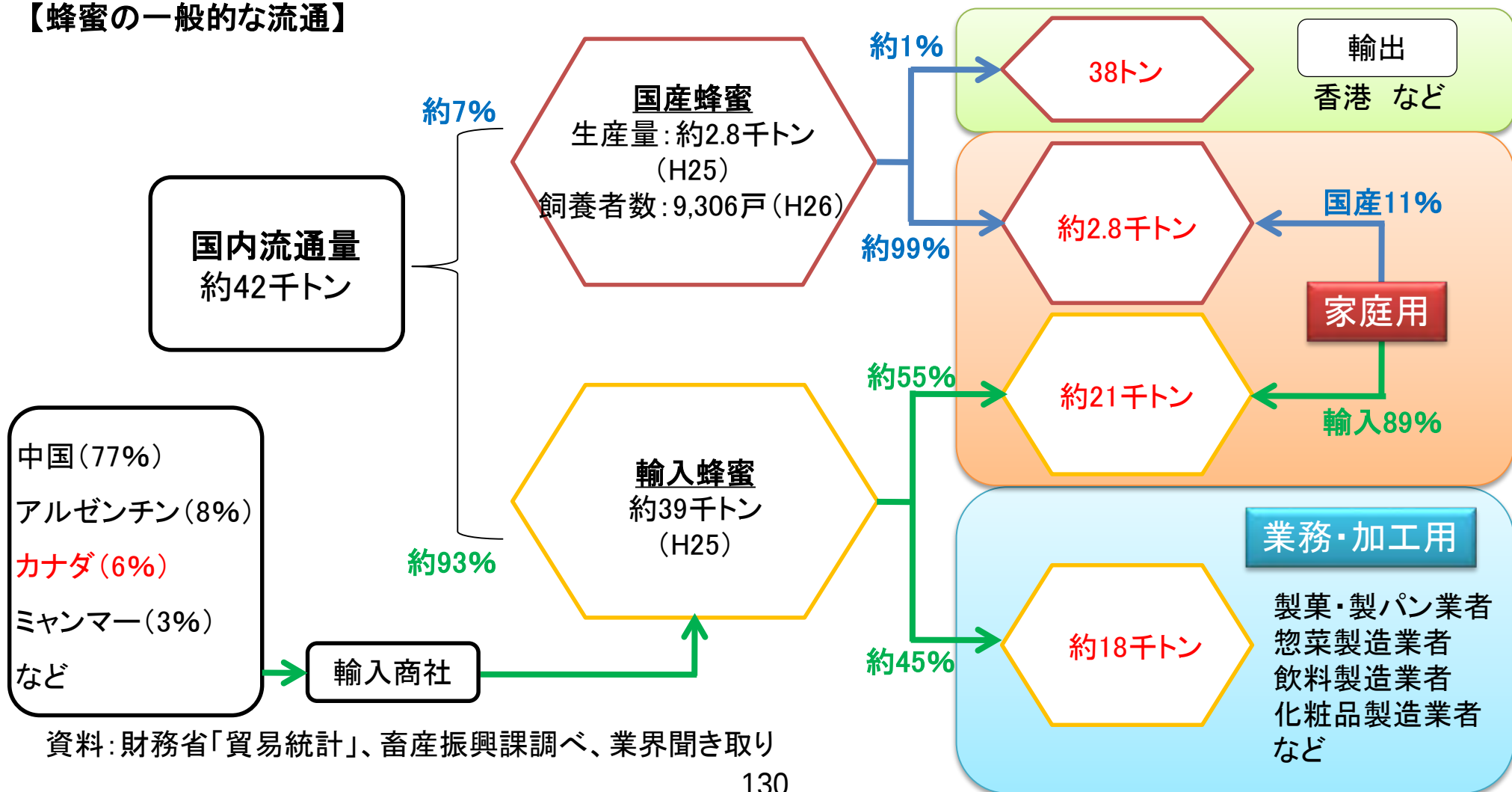
※ TPP参加国のうち、主な輸入国は、カナダ、ニュージーランド、メキシコ等である。

資料: 畜産振興課調べ(生産量)、貿易統計(輸入量)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(為替相場)

蜂蜜の流通

- 蜂蜜の国内流通量は、約42千トンで、うち国産が約2.8千トン、輸入が約39千トン。輸入はちみつの77%は中国産。
- 国産蜂蜜のほぼ全てが家庭用仕向け。輸入蜂蜜は約55%が家庭用、約45%が業務・加工用仕向け(製菓・製パン、化粧品等)。

【蜂蜜の一般的な流通】



蜂蜜の種類、色、価格

- 蜂蜜の種類は、蜜源の花により分類され、アカシアの花の蜜からはアカシア蜜、レンゲの花の蜜からはレンゲ蜜が取れる。
- 蜂蜜の色は、蜜源の花の種類によって淡黄色から黒褐色まで様々。
- 価格については、国産、輸入では生産コストの違いにより、中国、東南アジア産蜂蜜と国産には相当程度の価格差が存在。

種類・色

いろいろなはちみつがあります



ソバ 百花 トチ レンゲ アカシア

トチの花



レンゲの花



アカシアの花



価格

・国産蜂蜜卸売価格

1,000円/kg～2,300円/kg

※一般社団法人日本養蜂協会聞き取り

・外国産蜂蜜価格

平成25年	数量(t)	価額(千円)	CIF価格 (円/kg)	課税後 (円/kg)
合計	39,030	11,340,810	291	365
中華人民共和国	30,006	6,624,022	221	277
アルゼンチン	3,044	1,100,127	361	454
カナダ	2,407	1,188,984	494	620
ミャンマー	1,177	210,403	179	224
ハンガリー	740	507,798	686	861
ニュージーランド	522	947,769	1,816	2,279

出典：財務省「貿易統計」 ※天然蜂蜜の関税率は25.5%

軽種馬

○ 軽種馬については、北海道が全国生産頭数の97%（うち日高地方で約8割）を占めるなど、軽種馬生産以外に有力な転換作目の少ない当該地域の農業において重要な地位を占めており、このような軽種馬生産者に対する影響を緩和する必要があることから競走馬とその妊娠馬について、関税（1頭あたり340万円）を課すことにより、安価な輸入馬の無秩序な流入を防いでいる。

【生産量】

国内生産量	主な生産地（2013年産）		
6,843頭 （生産量シェア）	北海道 （97.3%）	青森県 （1.2%）	鹿児島県 （0.4%）

出典：軽種馬統計

【輸入量】

輸入量	主な輸入先国（2013年度）		
173頭 （輸入量シェア）	米国 （61.3%）	英国 （27.7%）	アイルランド （3.5%）

出典：貿易統計

【価格】

価格の推移（万円/頭）					
年	2009	2010	2011	2012	2013
国内価格	667	651	733	796	853
国際価格	568	569	611	697	998

出典：国内価格は、国内せり市場における1才馬平均価格。
国際価格は、キーンランドセール（米国）における1才馬平均価格。

【国境措置】

関税率（〔 〕は従価税換算値）		国境措置の概要
一次税率 340万円/頭 〔70%（妊娠馬）、94%（競走馬）〕※	二次税率 —	—

（※WTO農業交渉上の換算値）

軽種馬の国内生産頭数及び輸入実績(2009～2013年度)				(単位:頭、百万円)	
品目・国	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
国内生産頭数	7,484	7,130	7,092	6,837	6,843
輸入頭数	201	215	222	176	173
うち妊娠馬	(10)	(10)	(7)	(4)	(7)
米国	137	144	151	127	106
豪州	17	10	15	11	5
NZ	1	3	0	0	0
輸入金額	3,561	3,144	2,864	2,588	2,836
平均輸入価格	18	15	13	15	16
出典:軽種馬統計((公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル)、貿易統計(財務省)。					

主要品目の実行関税率の推移

- 我が国の林産物の関税は、これまで数次にわたる交渉等により、引き下げが行われている。
- 現在、丸太や製材等で無税となっている一方、製材の一部、合板、集成材等は関税を維持している。

品目名 [引下げ期間等]		自由化完了時 1964年	ケネディ ラウンド 1968～72年	東京ラウンド 1980～87年	MOSS合意 1987～88年	UR合意 1995～99年
丸太		0	0	0	0	0
製材	米マツ・米ツガ等	0	0	0	0	0
	マツ・モミ・トウヒ	10	10	10	8	4.8
合板	熱帯木材14種	20	20	17～20	15～20	8.5～10
	その他熱帯木材	20	20	17～20	10～15	6
	その他広葉樹	20	20	17～20	10～15	6
	針葉樹	20	15	15	10～15	6
PB(OSB含む)注		15～20	15	10～12	8～10	5～7.9
集成材		20	20	20	15	6

注：パーティクルボード（PB）の1987年以前の関税率は、HS4418(再生木材)を集計。

現在の我が国の林産物関税

主な品目	関税率（％）
丸 太(桐を除く)	無税
チップ	無税
製 材(ベイマツ、ベイツガ)	無税
製 材（ＳＰＦ※１）	４．８
製 材(カラマツ等)	６．０
パーティクルボード（ＯＳＢ含む）	５．０～７．９
合 板（熱帯木材１４種※２）	８．５～１０．０
合 板（熱帯木材１４種以外）	６．０
集成材	６．０
構造用集成材	３．９
木製家具	無税
紙	無税

※１：トウヒ（Spruce）、マツ（Pine）、モミ（Fir）類。主なものは北米及び欧州のパイン・スプルース、NZ・チリのラジアータパイン、北洋のエゾマツ・アカマツ等。なお、ベイマツは含まれない。

※２：熱帯木材１４種

アカジョアフリカ、ダークレッドメランチ、ライトレッドメランチ、シポ、リンバ、マホガニー、オベチェ、オクメ、パリッサンドルパラ、バイロラ、パリッサンドルリオ、パリッサンドルロゼ、サペリ、ホワイトラワン

林産品の価格の推移

○ 林産品の価格は、為替、住宅着工動向等の影響を大きく受ける。

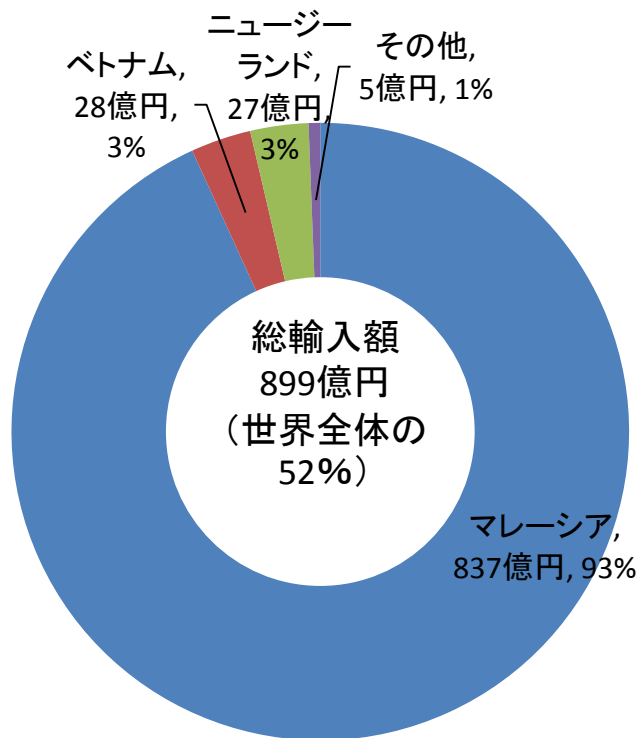
区 分	H25	H26	H27
為替(円/ドル)	98	106	118
新設住宅着工戸数(千戸)	210	217	205
国産針葉樹合板価格(円/枚)	930	1,100	880

注) ・ 為替は年平均及びH27.1

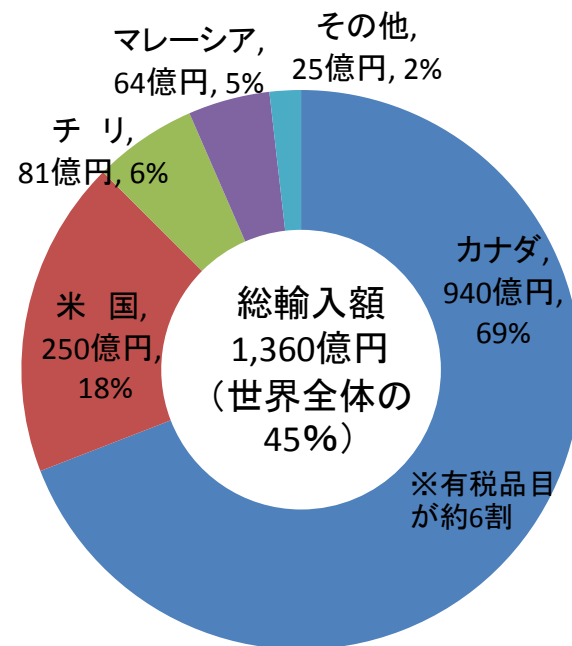
・ 新設住宅着工戸数及び合板価格は第1四半期

TPP参加国から我が国への主要林産物の輸入状況(2013年)

合板



製材



主な林産物の輸入量

(単位:m3, 千kg)

品目概要	単位	関税率	2011年～2013年の品目毎の3カ年平均輸入量									
			マレーシア	カナダ	NZ	チリ	ベトナム	米国	豪州	その他	TPP計	世界計
熱帯木材合板（その他）（※1）	m3	6.0	770,121	－	－	－	7,616	41	－	59	777,837	1,351,237
広葉樹合板（※1）	m3	6.0	616,393	194	－	－	41,502	92	－	－	658,181	1,155,461
熱帯木材合板（14種）（※1）	m3	8.5～10.0	151,166	－	－	－	40	1	－	－	151,207	368,600
針葉樹合板（※1）	m3	6.0	223	23,748	50,208	7,401	2,565	2,837	－	－	86,981	154,145
OSB（※2）	m3	5.0～6.0	－	206,518	0	－	－	462	－	－	206,980	263,578
パーティクルボード（※2）	m3	6.0	13,035	181	61,442	－	113	24	1,380	－	76,174	84,693
SPF製材（※1）	m3	4.8	6	1,502,676	55,559	300,059	209	9,686	101	－	1,868,296	5,397,478
造作用LVL（※2）	m3	6.0	20,234	664	5,999	－	1,231	488	－	－	28,616	478,090
造作用集成材（※2）	m3	6.0	5,405	286	33	275	6,425	20	－	－	12,445	96,386
ブロックボード等	m3	6.0	28,203	－	－	－	80	－	－	－	28,282	103,751
フリー板	m3	2.9	9,267	53	38	1,566	19,733	23	15	－	30,696	320,764
さねはぎ加工	m3	5.0	6,664	13,813	258	443	1,133	64	36	11	22,423	91,723
MDF	千kg	2.6	119,373	7	208,176	4,731	213	100	8,913	－	341,514	377,599
その他建築用木工品	千kg	3.9	72	2,669	33,003	－	553	5,895	2	－	42,193	272,185
その他木製品	千kg	2.9	2,460	315	4	13	4,411	149	1,508	10	8,869	124,275

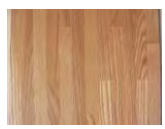
(※1) 国会決議品目

(※2) 国会決議品目の主な競合品

国会決議(平成25年4月18日・参議院、19日・衆議院)(抜粋)

- 1 米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要品目について、引き続き再生産可能となるよう除外又は再協議の対象とすること。十年を超える期間をかけた段階的な関税撤廃も含め認めないこと。
- 2 残留農薬・食品添加物の基準、遺伝子組換え食品の表示義務、遺伝子組換え種子の規制、輸入原材料の原産地表示、BSEに係る牛肉の輸入措置等において、食の安全・安心及び食料の安定生産を損なわないこと。
- 3 国内の温暖化対策や木材自給率向上のための森林整備に不可欠な合板、製材の関税に最大限配慮すること。
- 4 漁業補助金等における国の政策決定権を維持すること。仮に漁業補助金につき規律が設けられるとしても、過剰漁獲を招くものに限定し、漁港整備や所得支援など、持続的漁業の発展や多面的機能の発揮、更には震災復興に必要なものが確保されるようにすること。
- 5 濫訴防止策等を含まない、国の主権を損なうようなISD条項には合意しないこと。
- 6 交渉に当たっては、二国間交渉等にも留意しつつ、自然的・地理的条件に制約される農林水産分野の重要五品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は、脱退も辞さないものとする。
- 7 交渉により収集した情報については、国会に速やかに報告するとともに、国民への十分な情報提供を行い、幅広い国民的議論を行うよう措置すること。
- 8 交渉を進める中においても、国内農林水産業の構造改革の努力を加速するとともに、交渉の帰趨いかんでは、国内農林水産業、関連産業及び地域経済に及ぼす影響が甚大であることを十分に踏まえて、政府を挙げて対応すること。

主な木材製品の概要

木材製品	イメージ	主な用途	国内との競合品
合板(※)		PB、OSB、MDF、ブロックボード、LVLと同じ	国産合板
OSB (オリエンテッド・ストランド・ボード (Oriented Strand Board)。薄い木材の小片を何層にも重ねて作られたボードであり、住宅の屋根、壁、床の下地として使用される。構造用パネルとも呼ばれる。)		住宅・大規模木造建築物の屋根、壁及び床の下地材	国産合板
パーティクルボード		家具用(組立家具、キャビネット等)、建築用(床や壁などの下地材等)	国産合板
SPF製材 (トウヒ属・マツ属・モミ属 (Spruce、Pine、Fir) の製材。)		住宅資材(ツーバイフォー工法用枠組材)	国産製材
LVL (ラミネーテッド・ベニア・ランバー (Laminated Veneer Lumber、単板積層材)。2～4mm程度の単板を数層から数十層、繊維方向を平行にして積層、密着したもの。)		家具の芯材、間柱、梱包用など	国産合板、 国産製材
造作用集成材		階段、壁面、カウンター、床材など	国産集成材
ブロックボード		ドア、収納、扉など	国産合板
フリー板		階段、壁面、カウンター、床材など	国産集成材
さねはぎ加工		床材、壁面など	国産製材
MDF (ミディアム・デンシティ・ファイバーボード (Medium Density Fiberboard、中密度繊維板)。木質繊維を原料とするボードで、住宅の壁や家具、造作材に使用される。)		壁面、家具、造作材など	国産合板
その他建築用木工品 (CLT) (クロス・ラミネーテッド・ティンバー (Cross Laminated Timber、直交集成板)。ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル。)		柱、梁、桁など、構造物の耐力部材	国産CLT

※ 合板には、熱帯木材合板(14種)、熱帯木材合板(その他)、針葉樹合板、広葉樹合板の4種類がある。それぞれの定義は以下のとおり。熱帯木材合板(14種)は、ダークレッドラワン、ライトレッドメランチ、ホワイトラワン、マホガニー等の14種の熱帯木材を原料としたもの。熱帯木材合板(その他)は、熱帯木材合板(14種)を除く熱帯木材を原料としたもの。針葉樹合板は、針葉樹を原料としたもの。広葉樹合板は、熱帯木材を除く広葉樹を原料としたもの。

主な水産物の輸入額について

品 目	関税率	全世界からの輸入額 (億円)	TPP加盟国からの輸入額 (億円)	TPP加盟国輸入額上位3ヶ国 (億円)					
				1位		2位		3位	
あじ	10%	49	5	ベトナム	3	NZ	2	-	-
さば	7～10%	126	0.3	カナダ	0.2	ベトナム	0.04	米国	0.02
いわし	10%	2	2	米国	2	メキシコ	0.1	カナダ	0.05
ぶり	10%	0.3	-	-	-	-	-	-	-
ほたてがい	10%	3	0.1	ベトナム	0.1	-	-	-	-
いか	3.5～5%	505	116	ベトナム	58	ペルー	21	米国	17
さんま	10%	6	-	-	-	-	-	-	-
すけとうだらのすり身	4.2%	238	235	米国	235	-	-	-	-
たら類の卵	4.2%	329	107	米国	107	NZ	0.2	カナダ	0.04
まだら	6～10%	59	48	米国	48	-	-	-	-
にしん	6%	56	39	米国	36	カナダ	3	-	-
太平洋くろまぐろ	3.5%	65	62	メキシコ	62	NZ	0.6	米国	0.02
大西洋くろまぐろ	3.5%	387	14	カナダ	9	米国	4	メキシコ	1
みなみまぐろ	3.5%	155	130	豪州	122	NZ	8	-	-
めばちまぐろ	3.5%	567	11	豪州	5	ベトナム	2	米国	2
かつお	3.5%	36	0.2	ベトナム	0.2	-	-	-	-
ぎんざけ	3.5%	390	387	チリ	386	米国	0.3	カナダ	0.1
大西洋さけ	3.5%	212	20	カナダ	10	豪州	8	チリ	2
ます	3.5%	524	484	チリ	483	豪州	1	ペルー	0.1
べにざけ	3.5%	215	29	米国	28	カナダ	0.8	-	-
のり	1.5円/枚、40%	26	-	-	-	-	-	-	-
こんぶ	15%	19	3	チリ	2	ベトナム	0.5	米国	0.1
わかめ	10.5%	94	0.002	豪州	0.002	-	-	-	-
ひじき	10.5%	34	-	-	-	-	-	-	-
うなぎ	3.5%	179	-	-	-	-	-	-	-
水産物全品目	-	15797	4620	チリ	1252	米国	1207	ベトナム	912

※ 輸入額は2013年実績。